



アート亀山 2013

ART 2013
KAMEYAMA

10/27 (Sun.) - 11/4 (Mon.)

オープニング前夜祭 10/26 (Sat.) 17:00-

会場 三重県亀山市東町商店街

開催時間 10:00-17:00

HP <http://art-kameyama.com/>

“かめやま文化年 2014” プレイベント事業



「アート亀山2013」

亀山市東町商店街、私の住む街にアートを取り入れ、街を元気にという想いからスタートした「アート亀山」。

第6回目の「アート亀山2013」は、北海道から広島県まで、全国の若手アーティストの皆様、地元作家の皆様方のご協力により開催することができました。

商店街という日常の中に、アートという非日常を持ち込み、街歩きを楽しみ、人々との交流を図るという企画です。今回は、皆様はどのような発見をされましたでしょうか。毎回違った見方が生まれては驚き、新しい感動があったのではないのでしょうか。

全国から参加して下さった作家の皆様、商店街の皆様、また良き協働相手の亀山市、いつもの確なアドバイスをくださる井上隆邦氏、ありがとうございました。

「アート亀山2013」を盛り上げて下さった皆様に、心より感謝申し上げます。

今後、一層の発展を願いつつ、課題を乗り越える努力をしていかなければと考えております。

アート亀山2013実行委員長
代表 伊藤 峰子

2013 10/27(Sun.) – 11/4(Mon.)

ART 2013
KAMEYAMA

Contents

ご挨拶

アート亀山2013に寄せて

出品作家

関連イベントレポート

アート亀山2013資料

お世話になった皆様からのメッセージ



出品作家

明楽 和記
井谷 うらん
伊藤 龍彦
稲垣 美侑
岡本 優希
緒方 直青
川西 みどり
金 泰範
倉岡 としえ
倉岡 雅
駒井 淳也
斉田 武亨
坂井 浩美
鈴木 香理
竹原 真二
田村 公男
濱口 新平
原田 愛子
藤田 昌久
人見 紗操
藤埴 祐子
堂本 清文
富田 歩
長縄 功太郎
西村 武美
本瀬 あゆみ
森 敏子
ろくいち
a. k. a
ASIT
Avocado
CAKE-HARA
gekitetsu
imoko
Kouhei
studio_01

関連イベント

ワークショップ「みんなで作る折り紙の「亀山」

本瀬 あゆみ・金 泰範

ワークショップ「行灯をつくろう」

Studio_0 1

似顔絵

倉岡 雅

木版画制作ライブ

藤田 昌久

街角スケッチ

田村 公男

川西 みどり

パーカッションシアター

GimmiC

インスタレーション：行灯

studio_0 1

カーペインティング「キッチンカーに絵を描こう」

実行委員会

詩の朗読

Megumi Orpheus Sugitani

ネイルアート

岡本 優希

アートツアー

伊藤 龍彦

関連プログラム

ワークショップ

講演会テーマ「まちとあかり」

ゲスト 面出 薫

アート亀山2013によせて

亀山市長 櫻井 義之

アート亀山2013は、昨年度に引き続きアートによるまちづくりを考える会の皆様と亀山市との協働事業として開催いたしました。アート亀山2013が盛大に開催されましたことは、伊藤峰子実行委員長をはじめ、関係各位のご尽力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

さて、アート亀山は、県内唯一となるコンペ方式を取り入れた現代アート展として、年々その活動の幅を広げられております。

特に6回目となる今回は、開催に先駆けて行われた、行灯を題材としたワークショップにおいて、照明デザイナーとして世界的に活躍されている面出薫さんにご講演、ご講評いただきました。さらに、10月には、市内の学校や地域の皆さんと共に「亀の山」を作る折り紙のワークショップが行われ、子ども達の元気あふれる作品にアート亀山2013を彩っていただきました。

一方、本市では、「文化の力」を生かしたまちづくりを進めるため、平成23年3月に文化振興ビジョンを策定しました。本ビジョンに定める基本方針の1つである「文化による創造と交流のまち」に基づき、平成26年度を「かめやま文化年2014」と位置づけ、市民や市民活動団体などが積極的に文化活動に関わる機会を創出するため、現在準備を進めております。今後も、人と人とのつながりが深まり、満足感が得られるような、誰もが輝くクオリティ・オブ・ライフの高いまちを目指して、取り組んでまいりたいと考えております。

アート亀山2013では、たくさんの個性豊かな作品を鑑賞させていただきました。作家の皆様におかれましては、今後ますますのご活躍をご祈念申し上げますとともに、ここ亀山市で、再びお会いできますことを心よりお待ち申し上げます。

最後になりましたが、アート亀山が人々の心を豊かにし、人と文化の更なる交流を生み出すイベントとして、一層ご発展いただきますことを祈念申し上げますとともに、関係者の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

前三重県立美術館館長 井上隆邦

6回目の「アート亀山」が無事終了したことを大変うれしく思っております。

この事業を継続するに際して予算措置や事務局体制の構築、参加アーティストの確保など多くの課題がありますが、少しずつ解決し、是非事業の定着を図っていただきたいと思います。

芸術表現は時代と共に変化します。既存の表現を踏襲しているだけではアートの新たな地平線は拓かれません。

ちょっと美術史の国際的な流れを振り返ってみましょう。今でこそ「印象派」は大変人気がありますが、19世紀中庸、はじめて登場した時は世間の評価は惨憺たるものでした。

それまでの絵画表現とは異なる「印象派」の登場に人々は戸惑い、抵抗感を示したことは言うまでもありません。しかし、百数十年後の今日、「印象派」をめぐる評価は当時とはまったく異なります。展覧会が開催されれば、観客数が数十万人に達するもことも珍しくありません。実に隔世の感があります。

新しい時代を切り開く芸術表現はその斬新さゆえ、定着するまでには多くの時間がかかり、さまざまな困難にも直面します。「アート亀山」も例外ではないでしょう。道のりは平坦ではないかも知れませんが、辛抱強く多くの難問を乗り越え、三重における芸術表現の重要な拠点として、いつの日かその真価を発揮することを期待してやみません。

亀山市文化スポーツ室

観光振興室

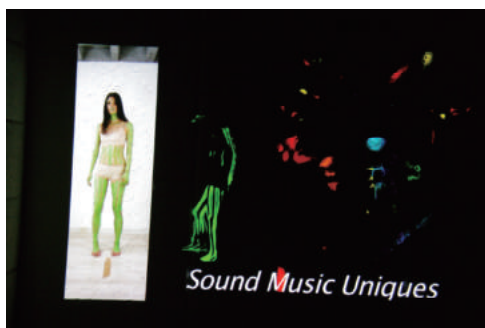
商工業振興室

大型台風の接近で、準備や開催への影響が心配されましたが、実行委員会の皆さんや、全国から亀山市にお越しいただく作家の皆さんの真摯な想いが暴風雨を吹き飛ばしてくれたようでした。

今回、アート亀山を開催するにあたって商店の皆さまにお願いに伺った際、快くご了承くださったことが印象的でした。目印としてアーケードにかけられた赤い旗からは、アート亀山が積み重ねてきた歴史や経験、市民性のようなさりげないおもてなしの心を表しているように感じます。

この先、関係者やご来場の皆様がこの事業をきっかけに、アート亀山と、このまちを好きになってくださり、商店街だけでなく、亀山市全体が元気になることを期待しています。

ART KAMEYAMA 2013 出品作品



imoko

宿場町であった亀山のシャッターの増えた商店街で展示するというので、都会の夢のない若者を見ていただきたいと思いました。中身のない映像と、現実的ではない話の作品。小さな子やお年寄りが、綺麗といって見てくれたことで、作品が完成した気がします。



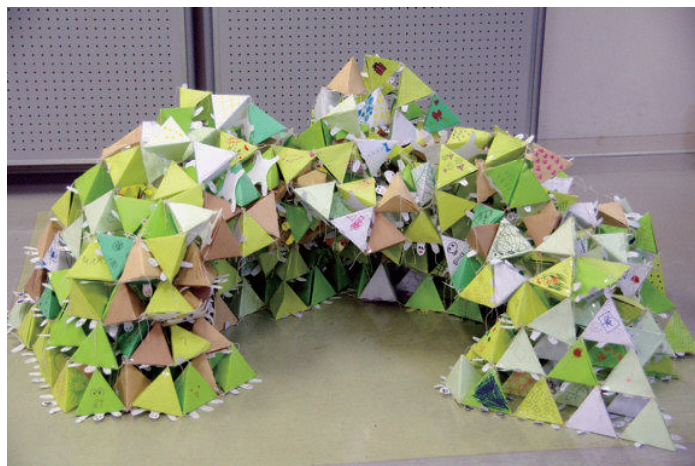
田村 公男

今年「街角スケッチ」というのをやってみて、改めて感じました。私にとってやはり絵描きは眼です！愚鈍なる脳細胞を貫く眼です！ブヨブヨと相対化したこの現代日本の芸術空間に絶対性を持ち込みたく眼をきたえねば！！



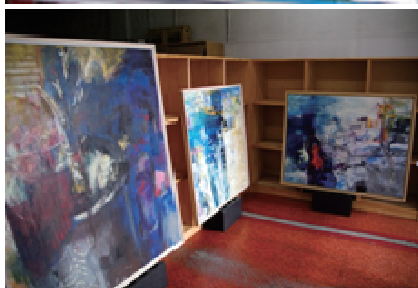
Avocado

今回はじめての参加で不安も多かったのですが、たくさんの方に手に取って写真を撮っていただき、亀山の風景の一部にしてもらえたこと、とてもいい経験になりました。ありがとうございました。



本瀬 あゆみ・金 泰範・斉田 武亨

亀山の小学校や学童保育の協力のもとワークショップを行い、小さなカメのかまくらを作りました。各々の制作したカメが作品の一部として展示されたことで、地元の商店街へ興味・関心をもっていただけの「きっかけ」になってくれればと思います。



倉岡 としえ

何もない無彩色の壁は作品を引き立たせてくれる。しかし、「アート亀山」は一筋縄にはいかない。亀山の街とお店と、遠方からのさまざまな空気をはらんだ作品たちとどう折り合いをつけるか、いつもハラハラドキドキ、そんなスリリングさがだんだんやみつぎになってきた。



CAKE-HARA

第一回から参加していますが、年々展覧会の充実度が上がってきていると感じます。出品者の意気込みと、地元の方々の意気込みがうまくリンクするようになってきて、それはひとえに地元の方々の地道で多大な努力の賜物であると思います。大変ありがとうございます。

これからもよろしくお願ひします。



井谷 うらん パンが大好き「てんと王子」

私は商店街という「場」をアートするというコンセプトで、毎年立体作品を制作展示しています。

今年は「シャトー」さんのお店の前に、古民家の屋根に設置したピンクのてんとう虫の弟（王子様）をイメージしたオブジェを設置しました。



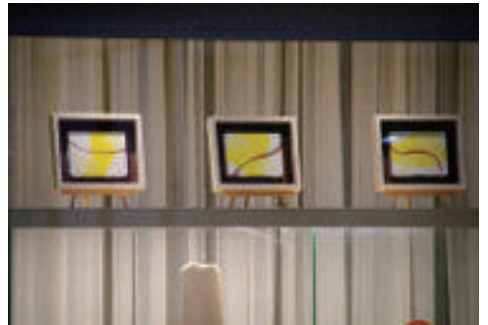
人見 紗操

鼻歌を用いた試みを、この機会に東町商店街の皆様の協力のもとでひとつの作品にすることができたこと、そしてこのような形で皆様と関わり合えたこと、幸せな体験でした。アート亀山の更なる発展に期待しております。本当に、どうもありがとうございます。



岡本 優希

昨年もアート亀山に参加しましたが、作家として作品を出したのは今年が初めてです。作品はネイルチップにお花をメインに描いたものと、50号のアクリル画は淡いトーンでファンタスティックなイメージで描きました。



川西 みどり

イタリアブランドのトラサルディの店長さんお話、店内、アート亀山の時期に展示する商品から、イメージを膨らませ、テーマをお店とのコラボレーションとしました。

出来上がったウィンドウの作品は、イタリアの明るい風が福島へ吹いてとの思いを込めました。小品はイタリアの黄色に亀山の城下町のイメージで和服の帯、花の形に福島の子どもの心を入れました。

小品はお店に馴染みすぎて、探しにくいよと言う方もみえましたが、コラボは上手くいったと思います。



緒方 直青

「アート亀山アリガトウ」

私は枯れ枝を捨てて死に化粧を施し、いのちたちへのオマージュを画布に封じ込める。

滅びた命、壊れた心へ、まだここに居る者からのささやかなクイエムや感謝の印。

そんな作品を置いて下さったのは、東町実験場の美しい花屋さん。



藤田 昌久

街を描き、街（開放的な空間）に展示することを通して、商店街の良さを実感していくのではないかと思います。

回を重ねることで、その想いは深くなるでしょう。



藤墳 祐子 託す想い 見えるもの 見えないもの
- 阿部さん宅におけるインスタレーション -

亀山は縁のある地でしたが、アートを通じてまた新たな出会いができ、何よりの財産になりました。個人のお宅という特殊な会場をお借りしてまたとない経験ができました。みなさまのご協力があって、場を活かすということに自分なりの試みができました。ありがとうございました。



濱口 新平

「ヤンキー天使」明るく優しい硬派の不良イズマホマ
「千両、千両!!」面白い夢を運んでくれる妖精ポスタ
「週末ヒマ？」山を汚す人には怖い山神タゴマス
サラダ館さんのイメージのグリーンを基調に描きました
楽しい9日間でした。ありがとうございました。



studio_01

2013年はゲストとして照明デザイナーの面出薫氏に亀山に来ていただき、地元企業のカメヤマローソクにご協力いただき、行灯を制作しました。

今回の行灯ワークショップによって、火の美しさや紙のもっているやわらかさについて、さらに今私たちが暮らしている家や街の照明環境について再認識するきっかけをつくることのできたのではないかと思います。



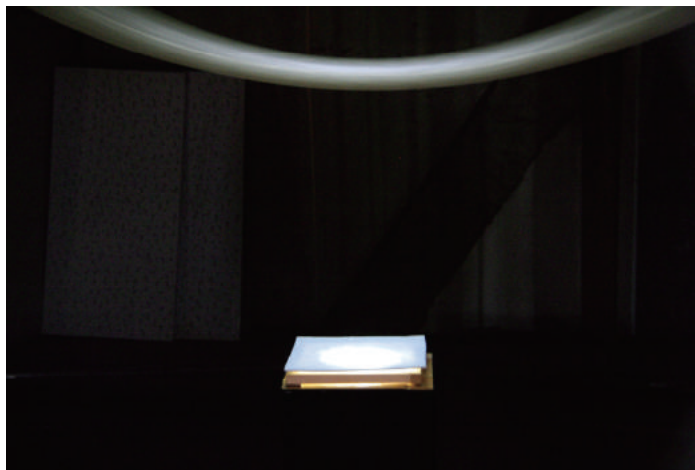
原田 愛子 「森本薬品さま」

染みのような写真を撮っています。今回、森本薬品さんのものの写真を、商品と一緒に陳列する展示をさせていただきました。制作と展示を通して、亀山が私にとって特別な場所になりました。ありがとうございました。



稲垣 美侑 A Line of Memory

「どこをきりとっても絵になるなあ。」作品を前に、そのような感想をもらした小さなお客さま。とても嬉しい一言でした。作品に命を宿らせるのが作家の役目であるならば、その命を見だし輝かせてくれるのは、他ならぬ鑑賞者の方々なのかも知れません。新たな出逢いによって亀山という土地の魅力に数多く触れることができ、「場」のもつ力を、呼吸を、肌で感じることでできる貴重な機会となりました。有難うございました。



ろくいち

今回、初めてユニットを組み主催者の方を初めとし、展示場所にもなった阿部さんや色々な方の協力もありながら楽しく展示させていただきました。また、機会があれば参加させていただきたいと思うほど地域の人たちの優しさに溢れたアートイベントでした。



坂井 浩美

以前から憧れていた展示場所をお借りした写真のトヨダさんや、たくさんの方にお世話になりました。また、見て頂いて感想をもらい、自分では見えていなかったところなど、勉強になりました。ありがとうございました。



a.k.a

私たちの身体を通して私たちのみだ都市・世界を表現する試みをしました。制作中は人懐っこく優しい亀山の人たちに囲まれ、忙しくも楽しいひとときでした。新しい繋がりとともに亀山の輪が広がっていきますように。



西村 武美 「カサブラン・コ」

今回初めて材木店で展示させていただき、木と傘、そしてブランコの相性の良さを再確認することができ、そしてたくさんの方々の協力のおかげで、カサブラン・コを出現させることができたと思います。

展示する地域ごとに傘を集めるとその地域によって、特色が分かれてくるのが見えるのですが亀山で集まった傘は優しい色合いの少し個性のある物ばかりでした。

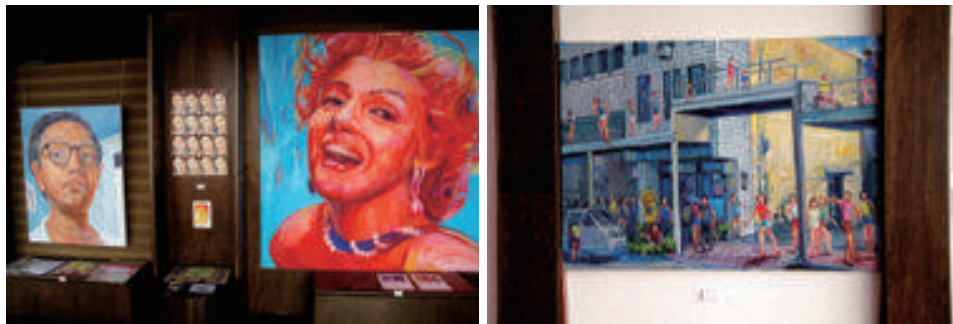
そんな方々の記憶が入り混じったカサブラン・コで冒険したらさきっと優しさがにじみ出た愛に溢れた町であることが再確認できるのではないかなと感じております。

9日間という短い期間ではありましたが、たくさんの方々に冒険していただけて感謝しております。ドキドキワクワクしてもらえていたら、うれしいな



駒井 淳也

ありがとうございました。サンキューベリーマッチ。メルシー。ダンケ・シェーン。スパシーポ。シェイシェイ。グラッチェ。イヤイライケレ。カムサハムニダ！テリマカシ。ジャクユ。シュックリヤー。



堂本 清文

元テラー123さんで展示させていただいた堂本です。展示スペースはとても上品で素晴らしく。出品作家としては大満足です。ご主人もとても親切にいただき感謝しています。今後も使用ができることを望んでいます。年間を通した企画展ができると素晴らしいです。ありがとうございました。



伊藤 龍彦



明楽 和記 CANDLE PAINTING

道があり、町ができ、発展し、時が経ち、歴史ができる。
時間をかけてローソクは燃えて溶け、形を変え痕跡として残る。
ある町が、どうだったのか、また、どうなっていくのか。それに答えを出すのではなく、その時間を絵画に込めることにした。



ASIT

ASITとして二回目の参加となった今回の参加。一言で表すと初挑戦の連続でした。一連のアーケードへの長距離の展示、被写体としての協力願い、二作品同時展示。他の場ではできないことばかりで、とてもいい経験をさせていただきました。ありがとうございました



森 敏子

「景」

閉じられたシャッターに展示した「景」。

公園の大きな木に展示した「景」。

ふるさとKAMEYAMAへの想いを作品のブルーに重ねました。

木々の揺らめき、吹きわたる風、蒼い空、草の雫……。

人々の日常の中、過ぎ去った「アート亀山2013」。

いろんな想いがひとつになって、また、新しい生命体が動きだしたように感じました。

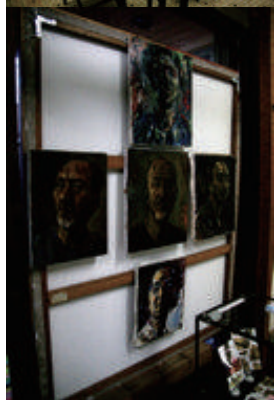
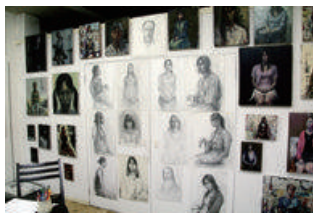


Kouhei



長縄 功太郎 「今ここにいる」

この作品は、自然の移り変わりを感じてもらうために制作しました。また、茶室をイメージし、一人になれる空間を設置することで、限られた空間の中で五感を研ぎ澄まし、自分の心の内面を深く見つめる空間にしました



倉岡 雅

今年は会期中は日参したので、例年になくアート亀山を体感しました。

アートと若手アーティストが行き交う非日常的な商店街はファンタスティックで新鮮でした。

商店街の皆さん、スタッフの皆さんありがとうございました。



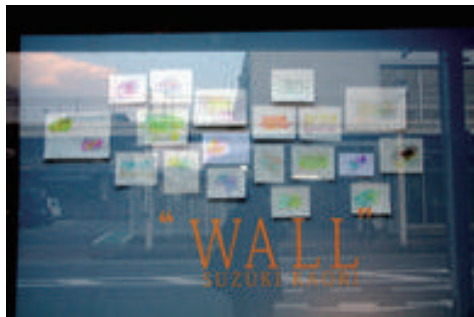
竹原 真二

趣のある亀山の町で展示できたことは、大変貴重な経験となりました。
見つかった成果や課題を糧にして制作に励みたいと思います。



富田 歩

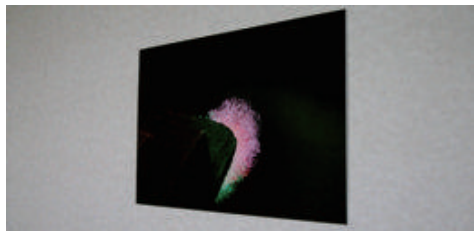
亀山の持つ美しい風景の中で制作を行えたこと、そして亀山という場で多くの人と出会えたことは非常に素敵な経験でした。「アート亀山」に関わられた全ての方々に感謝致します。



鈴木 香理 「WALL」

今回、(元)星栄電化センターで展示をさせて頂きました。今回の展示で、場所と作品との関係を見直して、より空間と密接になった作品を制作していきたいと思います。

また、制作に集中出来るよう配慮して頂いた亀山市の方に本当にお世話になりました。ありがとうございました。



gekietetsu 「花火の日」

今回の作品の動機は色々ありますが、花火という多くの人が撮っている被写体で、自分の個性が出るのか？という疑問もひとつの理由です。個性がただの自己満足にならないように客観的に選別出来るように気を付けました。

アート亀山2013 関連プログラム

ワークショップをはじめとする様々なイベントプログラムが行われました

木版画制作ライブ 藤田 昌久
ネイルアート 岡本 優希
似顔絵 倉岡 雅
アートツアー 伊藤 龍彦
街角スケッチ 田村 公男
川西 みどり

ワークショップ：
みんなで作ろうカメのヤマ

本瀬 あゆみ
金 泰範
斉田 武亨

演奏：

パーカッションシアター
Gimmic

カーペインティング：

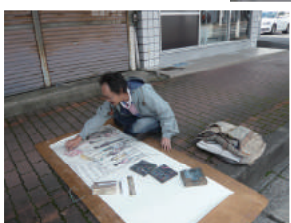
キッチンカーに絵を描こう
実行委員会

詩の朗読：

Megumi Orpheus Sugitani

インスタレーション：行灯

Studio_01



パーカッション奏者

Percussion Theatre GimmiC (代表)

赤羽拓真

アート亀山は私が理想としているスタイルのイベントでした。パフォーマンスをする側とお客さんとの距離が近く、皆さんの反応が我々にすぐに伝わります。又、MC中にお客さんと話しをしたり、演奏後に感想を言って下さったりと、皆さんとコミュニケーションを取る事が出来ました。とても幸せな一時でした。普段は関東での活動が中心ですが、亀山市は私にとって大変短な存在となりました。素敵なイベントで演奏をする機会を下さった関係者の皆様、誠に有り難うございました。

杉谷 恵

(Megumi Orpheus Sugitani)

アート亀山2013にて詩を語りました
楽しいCreativeな時間をありがとうございました

故郷龜山の美しい冬景色を 何度も思い出しながら もう何年も外からこの故郷を眺めていました
いろいろな国をまわり 経験を深めてまいりましたが 素朴なこの田舎の空川の流れが 自分の人生の原点であったと今は感じています

人生は変化し続けるものだから 止まらずに 今の一瞬をArtするので
このアート亀山が多くの人の出逢いの場所として そして 様々な気付きとめざめの場所として
もっともっと 花開かれますように、、、



ワークショップ・講演会

Kameyama Collection Workshop

「行灯をつくろう」

studio_01

講演会テーマ「まちとあかり」

ゲスト面出薫



Kameyama Collection Workshop は、アート亀山の関連企画として2012年から始まりました。

亀山の資源を用いたプロダクトをつくるワークショップとし 2012 年は木材を使ったベンチを制作しました。

2013 年はゲストとして照明デザイナーの面出薫氏に亀山に来ていただき、地元企業のカメヤマローソクにご協力いただき、行灯を制作しました。夏に行灯のデザインを考えるワークショップを学生と行い、その講評と講演を面出氏にお願いしました。



講演の内容は、六本木ヒルズやシンガポールの都市開発などスケールの大きな照明デザインの可能性から、照明探偵団として行っている、街歩きをしながら日常の灯りについて評価していく活動など、多岐にわたる活動をご講演いただきました。懇親会の後は商店街を歩き、照度計などを使って評価しながら、商店街の灯りがどうすればよりよい街並みに寄与できるかなど議論しました。



面出先生の講評を受けて改善した行灯「tsutsumigami」をアート亀山 2013 のオープニングで街の方々と一緒に制作し、それを夕方に持ち寄りキャンドルナイトを行いました。打楽器の演奏と詩の朗読と揺らぐ火の光が非日常の空間がつけられたのではないかと思います。

身の回りでは、LED や蛍光灯の灯りに囲まれて生活しています。そこでは火の熱さや自然な揺らぎを感じることはありません。調理においても電化が進み、火は遠い存在になりつつあります。

もちろん火は危険なものもありますが、身近なものとして扱うことによってその扱い方を学ぶことができます。



今回の行灯ワークショップによって、火の美しさや紙のもっているやわらかさについて、さらに今私たちが暮らしている家や街の照明環境について再認識するきっかけをつくることのできたのではないかと思います。

studio_o1



Workshop

「みんなで作ろうカメのヤマ」

本瀬あゆみ 金泰範 斉田武亨

会場：

東街商店街、亀山東小学校、
亀山西小学校、遊友クラブ(学童保育所)

折り紙で「カメ」をつくり「ヤマ」のように積み上げる
アート（ものづくり）を身近に体験する
地元の小学校や保育所の子どもたちとのワークショップ。



広報活動 取材メディア

- 新聞 朝日新聞
中日新聞
伊勢新聞
- テレビ おでかけ亀山
<http://odekakekameyama.mie1.net>
三重テレビ
亀山市行政情報番組マイタウンかめやま
- 発行物 広報かめやま
ベルブ
みえ市民活動・ボランティアニュース
市民活動ニュース（亀山市）
- インターネット <http://art-kameyama.com/>
<https://www.facebook.com/art.kameyama>
- 出展 まちづくり広場・東海2013（名古屋都市センター）



「まちづくり広場・東海2013」



印刷物

ポスター フライヤー



オフィシャルマップ



コンペ公募用紙



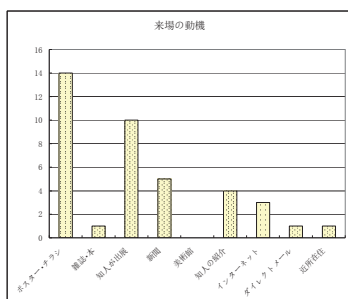
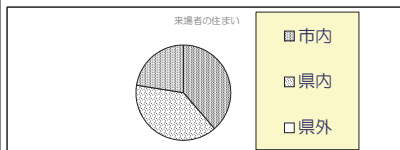
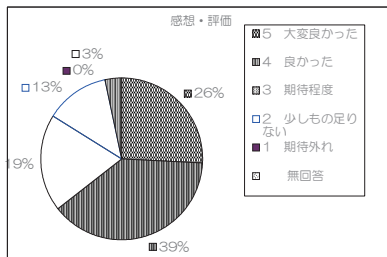
Design

三重大学教育学部 美術教育コース
 学生デザイン集団カゲムシャ 谷本 美紗

Photo

井谷 うらん

アート亀山2013 来場者アンケート集計（一般）



来場者の感想

先進事例として見学に来た（名張市商店街の活性化を卒研のテーマとしている）

素晴らしい作品、よく理解らない作品、色々な創作物に触れることができ、とても楽しい時間を過ごせた

亀山という街そのものの美しさを知ることができた

来年以降も是非とも訪れたい

目印になるものをアーケードの柱にあるスタンドを利用して取り付ける等、

告知（広報一人を呼び込む方法）に知恵を絞られたい

少しさびしい

町の地形を生かし、もっと面白く表現されたい

いろいろな作品の違いを楽しめた

年々すばらしい

テーマが難しいものもあり、子供たちには少しこわいかもー

普段には味わえない空間が刺激的でもあった

一つ二つ、万民が共感しあっと驚く作品があれば、

年齢を問わずアート亀山に来やすいと思う

作品展示がバラバラでわかりにくかった

地図と作品番号がもっとマッチするようになって欲しかった

作品が店のポスターと混在していてわかりにくい

作品レベルが美大の卒展レベルなので残念

楽しく拝見した
傘のアートは面白い発想だ
入り口がわかり難く、通り過ぎてしまったものもある
(小さな番号と説明だけではわかり難い)
新鮮だった 子供たちも喜んでた
亀山市だけではなく、三重県全体で商店に絵を飾るのも良いと思う
身近に絵があることは良い
商店街の中を歩いていて作品に気がつかない程、場に溶け込んでいるものもあって、とても楽しかった
絵画や映像作品など、様々なジャンルの作品が展示されていて、作品数が多くても最後まで楽しんで回ることができた
地域の活性化を目指すこの取り組みは日本全国で参考になる試みと思う
今回の作品の中では、a. k. a、Saaya Hitomi、Tomita Ayumu が心に残った
商店のウィンドウ内にアートが潜っていて、楽しませてもらった
崖の上のアートがよい
空想の世界がある
素晴らしい作品をたくさん見せていただいた来年も楽しみにしている
以前に来た時と変わらない町の様子で懐かしかった
毎年異なっていておもしろい
素晴らしいプロジェクトだ続けて欲しい
小さな子供も参加できる亀の折り紙もあり、楽しむことができた
子供たちは、中身が大人の本物の作品を目にする機会が少ないので「きれい!」「すごい!」と感じていた
作品も良かったが、商店街の商店そのものに懐かしさを感じた
毎年素晴らしくなっている 市がもっと力を入れて欲しい
もう少し興味をひく物が欲しい
もっと地元の人を巻き込むようなイベントがあれば、盛り上がると思う
一巡した後、「みらい」で新聞の記事を拝見したが、また別の見方ができて良かった
平日だったのでゆったり楽しめた
次回の機会にも来場したい
初めて見るもの多くて、新鮮だった
毎年来ている
芸術の覚えがよみがえってくる
少し規模が小さくなったように思う
歩行者天国があったほうが良い
芸術とか美術とかにあまり触れる機会がないので、良い機会だった
おもしろい
ゲキデツ、よかった

アンケート（こども）

こどもたちからのアンケート回収は71名。

その内、カメのアートに言及しているのが44名分もあり、参加の動機の回答を併せ、大半のこどもたちが学校行事として参加したと判断する。

自分たちも加わって完成した作品に対するよろこびが「すごい」という感情の表現で示されている。

普段目にすることの少ないアート展示作品の鑑賞、アートガーデン崖の上の場に立つといった、非日常の機会・空間に対する素直な感動が述べられていると判断できる。

学校行事のひとつとして取り組んでいただけたことに感謝申し上げると共に、その成果が充分すぎるくらいに得られたことを素直に喜びたい。

来場したこども達からの感想

かめのおりがみをつくるのが楽しかったです。

すごくきれいだった。

すごくうまかったです。えもうまかったし、ろうそくもきれいでした。またいつかいきたいと思いました。

えがすごいようでした。 テレビみたいなのがよかったです。

たのしかったです。かめさんがいたよ。ほくのつくったかめさんを見つけたよ。うれしかったですよ。

工夫されているなあと思いました。アートがらえると、いいと思います。すごかったです。

アートをやってみたいです。おもしろいです。思いついたりするのが、すごいです。

次も、がんばってください。

きれいなアートやおもしろいアートがあった。 もういちどみたいと思いました。

かめはさいしょいさかったのに、いっぱいあわせてあったので、すごく大きかったです。

それがすごいと思いました。

きれいなものがおいてあって、とてもすごかったです。 おもしろいのもありました。

すごくうまくかめができました。 とてもきれいでびっくりしました。かまからはびっくりしました。

亀がすごくすてきでできあがっていました。 ほかにもすてきな公園がありました。

公園の中にもアートがあって、なにかを感じたのは、すてきな秋の感じがしました。

秋のもみじがおちて、人々がもみじをみて、「きれいだね～」と思っているのを感じました。

見せていただき、ありがとうございます。 これからもがんばってください。

またいけたらいきます。 おねがいします。

わたしはじめて見にいったので、「すごいなあ」と思いました。

亀は、すごくいろいろな色があったので、きれいかったです。

その時は雨だったので、またはれたときにいきます。

かめがつなげてあってかわいかったです。 また家の人といっしょに行ってみます。

かめのできあがるのを、たのしみしています。

すごくきれいでいいなと思った。 すごくいろんなところがあったからよかった。

とてもきれいでびっくりしました。 おどろきました。 さくひんがすごかったです。

わたしたちがつくったかめで、かまくらをつくってくれてうれしかったです。

あと、いろんなむきから見ると、じてんしゃとかさなってすごいいました。

自分たちの作った作品がかざられてよかった。

なかめがよくてよかったです。 はじめていったのに、すごくきれいでした。

みんなはみてないけど、わたしはみたよ。 かさがブランコになった。

すごくて、またいきたいです。
すごくて、またいきたいなと思いました。
かめがかざられていて、うれしかったです。
わたしたちのかめがたくさんかざられていて、うれしかったです。
カーテンみたいなのがすごかったです。
カメでかまくらをつくるなんてすごいです。
かめのかまくらなんてあまりないので、ほくはすごいと思いました。
とくに、1日にあんなに作れる所がすごいと思いました。
かめのかまくらがすごかった。
じぶんたちがつくったかめで、かまくらをしようとした。
(かめつくりが)上手にできたと思いました。ほくらのかめが、大りょうにかさなってすご
かったです。
絵がすごきれいでした。かめのかまくらがすごかったです。
カメ(のかさなったのが)がすごく高かったです。
ほくたちの作ったかめが、かまくらみたいになっていたのですごいと思いました。
しほりやのしろのカーテンの中は、おもしろかったです。
とてもすごい絵などがかざられているのが、すごいと思いました。
写真がステキだった。カメがかざられてうれしかった。
ほくたちのかめがすごくてかくてびっくりしました。
かめのやつがすごかった。
女の人がおどっていて、いろいろいろなやつと、かめのかまくらがよかった。
すごくすずがきれいでした。
またできたらこうと思います。かめ、まだできてないぞうだからがんばってください。
アート亀山、いろんなさくひんをみせてもらいました。とくに、はなびの写真がかんどうし
ました。
いろんな作品があるんだなと思いました。ほくたちが作ったかめは、きれいにできあがって
いました。
人をつかって、色をぬって作ったアートもありました。
またアートかめ山があったら、みにいきたいです。
アートかめ山がすごかったのが、えいぞうみたいなのと、かめのかまくらです。
えもすごいなと思いました。いろんな人をかいていたから、すごいなと思いました。
すごくうまかったです。またみにいきたいです。
いろいろなさくひんがいっぱいあって、すごいと思いました。とてもくふうしてあったと思
いました
亀のさくひんができあがったら、みにいきたいです。
とてもくふうして、きれいですごかったです。
いろいろなさく品で、いろいろちがうものでリサイクルしているなと思いました。
亀がいっぱいあっておもしろかったです。
いろんなものがあって、すごかったです。
こわいえや、おもしろいえがいっぱいあって、すごかったです。
あんなにあってびっくりしました。
かめをかざってあったのが、すごいと思いました。
りゆうは、かたちがかめやまのかまくらが、すごいと思いました。
アートガーデンがけの上というのをみて思ったことは、すごけしきがよくて、したを見たら
おちるかとおもいました。上を見ると、そらをとべそうでした。
かめのかまくらがすごかった。ふれあい広ばも、広くておもしろかった。
アートガーデンがけの上も、少しこわかった。大角や(家の展示)もすごかったです。

みんながかめをおって、つなげて、どんどんつなげて、もっときれいにかんせいさせたいです。
ねこのやかたへいって、二かいにいってすごかったです。

みんなが元気にしたい。

きれいな学校にしたい。

きれいなきょうしつにしたい。

ろうか・きょうしつをはしらない。

とてもすごい、おもしろいやつ（作品）もありました。

とてもこわいところもありました。

ぜんぜん（＝少ししか）みてないから、お母さんとみたいです。

アートガーデンがけの上が、すごく（位置が）高かったのでびっくりしました。

いろいろなげいじゅつやしゃしんがたくさんあって、

アートガーデンがけの上はすごくきれいなけしきでした。

カメのカマクラは、ほくたちが作ったカメをカマクラにするのがすごいと思いました。

自分たちが作ったかめがかざってくれて、うれしかったです。

また、家とかでつくりたいと思いました。

とてもすごかったです。 えもすごかったし、かめもげいじゅつでしたので、まだいきたいです。今日はたのしかったです。

ありがとうございました。

見にいってのかんそうは、あんなにきれいにできていたとは、しりませんでした。

かめがわかくなって、すごいなーとおもいました。

ふしぎなばかりで、すごいなーと思いました。

かめのやつ（作品）がかまくらになっていました。

アートガーデンがけの上はこわかったですよ。

えのやつ（作品）がすごかったです。

みんなのかめがつなげてあってすごい、チョーすごいと思いました。

いろいろなところと、みんなのかめをがったいさせたのがすごいとおもいました。

かめがいっぱいかさなって、ソファーみたいになっていたのがびっくりしました。

すごい物（作品）がかざっていたのでびっくりしました。

アートガーデンがけの山がすごくきれいでした。

かめがすごくいっぱいかさねてあったのでびっくりした。

あの（アートガーデンがけの上の）高いところでこわかったです。

とってもおもしろかったです。 あの亀のかまくらが、すごかったです。

ふれあい広場で（に）ひさしぶりにきたので楽しかったです。

アートガーデンがけの上はいけしきでした。

とってもおもしろい作品がありました。

自分たちの作品がおいてあったので、おもしろかったです。

わたしたちのつくったかめが、かまくらみたいにつくっていたのが、びっくりしました。

アートガーデンがけの上では、すこしこわかったけど、けしきがすごくてきれいでした。

ねこのやかたでは、はなびの写真がきれいでした。

アート亀山は、いろんなアートがあって、すごいと思いました。

西小学校でかめを作って、それがアート亀山にかざってあったので、うれしかったです。

あんなに大きいとは思わなかったです。

いろいろなアートがあっておもしろかったです。

わたしのつくったかめがかざってあって、うれしかったです。

すごく大きなかたちになっていてすごいと思いました。

アートガーデンがけの上でみたけしきがきれいでした。

またいってみたいです。

アート亀山2013にご協力いただいた皆様から 寄せられたメッセージ



亀山市議会議員・福沢みゆき

中学生の息子が交通事故で意識不明の重体だったのは、アート亀山2012が終わって落ち着いた頃でした。

眼は開いていても意識が清明とは言えず、歌を歌ったり、マッサージをしたり、様々試みていました。幼い頃好きだった元永定正さんの絵本「もこもこもこ」を読み聞かせていたら、ページによって反応が違うことに気づきました。森さんにお話したら、元永さんの絵画を貸してくださり、病室に掛けそれは毎日よく眺めていました。

また、アート亀山の地元の出品作家の皆さまが色々な作品をお見舞いにくんだり、病室はギャラリーのようでした。息子の友人も絵を描いては届けてくれました。

今までのアート亀山の写真もiPadに撮りためてありましたのでそれもよくみていました。その後意識を取り戻し、奇跡的な回復を遂げ、退院する時、全ての絵を取り外したら真っ白な病室に戻りました。

その時のなんだか力が入らず腰が抜けるような感覚は忘れられません。私の中ではアート亀山2013の作家さん、2012の作家さん、もっと前の作家さんとも繋がっています。

たくさんの方々に支えられて息子は闘病、私は看護に頑張れたと思っています。アートってすごい力があるんだ、と実感しています。ありがとうございました。

頑張れアート亀山！！

近畿大学工業高等専門学校
都市環境コース（建築科）教授 青木 繁

私とアート亀山との出会いは、と言うより、森敏子さんとの出会いは、2010年11月4日でした。FM三重で森さんがアート亀山について熱く語っているのを聞きまして、これは見に行かなければと思ったのです。そして見学して回ってお寺の境内で、オーラを放っているパワフルな女性がいました。すぐ森さんと直感しました。その時初めてお会いしたのですが、昔からの知人のような印象でした。息子さんが大学の後輩であったり、娘さんと職場が一緒だった方が今私の職場にいたり、何か運命的なものを感じました。

それから毎年見学させていただいていますが、今年は私の卒業研究ゼミの学生たちも連れて行きました。卒研ゼミの学生たちは学校のある名張市の商店街の活性化をテーマにしまして、特に空き店舗の活用方法について調査研究をしています。その先進事例として今回アート亀山2013を見学（現地調査）させていただき、さらに事務局長の森さん、会長の伊藤さん、市役所の石垣さんにいるいろいろとお話を聞かせていただきました。学生たちも大変勉強になったと言っております、ありがとうございました。

私は、建築計画・都市計画・まちづくりを専門としており、「現代アートを活用したまちづくり」を最近の重点研究テーマとしています。現代アートを媒体とした都市農村交流、地元住民と芸術家の交流、芸術又は芸術家による人の癒し・励まし効果を、まちづくりにおける再生・活性化効果へと飛躍発展させた芸術福祉の視点を重視したいと思っています。住民参加・芸術家参加のまちづくりがこれからの時代に必要だと考えます。現代アートと地域資源（ひと、こと、もの）のコラボレーションによる、現代人のための精神的・肉体的な「現代アートによる甦りの里」づくりにも寄与したいと思います。

アート亀山は三重県内で唯一の現代アート展であり、規模は大きくはないが内発型地元型であり、コミュニティアートによる地方都市商店街活性化の先進事例だと思います。これからも是非頑張って継続していただきたいと思います。また、卒業研究ゼミの学生たちの研究テーマとしてアート亀山を取り上げさせていただき、何らかの形で参加協力させていただきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

実行委員 亀山市民文化部 観支所 観光振興室

岡田 晴貴

相変わらずイベントが重なっており、期間中はあまりお手伝いできませんでしたが、微力ながらもアート亀山の力になれて楽しかったです。ありがとうございました。

実行委員 亀山市民文化部 文化振興局 文化スポーツ室

石垣 忠

～アート亀山2013を終えて～

☆Congratulations!! アート亀山2013が無事に終わられましたこと誠におめでとうございます。そして、大変ご苦労さまでした。

実行委員会のみなさま方、関係者のみなさま方のご尽力に対しまして深く感謝申し上げます。

私は、今回、初めて参加させていただきました。北は北海道、南は広島までのたくさんの方の若い作家さんたちが“亀山東町商店街”を訪れていただいたことに驚きと感動を覚えました。I was very moved

今後も、アート亀山の益々のご発展と、実行委員のみなさまのご健勝をお祈り申し上げます。

P.S. お昼に食べたカレーと漬物は最高でした。(*^_^*)

実行委員 亀山市民文化部 文化振興局 文化スポーツ室

杉野 綾美

法因寺さんで行われたキャンドルナイトを見ることができました。今回は、ワークショップなど、体験できるアートが今回はたくさんあったように思えました。見て感じて遊べるアート展というのは、個人的に大好きなので、楽しい1週間でした。

実行委員 岩間 政人

美術なんて苦手だった僕が教育テレビの日曜美術館が気になりだして6年。別府トリエンナーレ「混浴温泉世界」へも行きました。頭をガツンとやられた、良き友との1泊3日高速千円弾丸ツアーでした。アート亀山がひとつの起爆剤となって東海道東町商店街が、亀山市がより一層賑やかになりますように・・・

三重大学教育学部美術教育コース4年

学生デザイン集団 カゲムシャ 谷本 美紗

ポスター・フライヤーなどのデザインを担当させていただいた、谷本と申します。

組織に所属していない状態でデザインのお仕事をするのは初めての事でした。

多々至らない面もあったと思いますが、実行委員の方や亀山市役所の方に助けて頂きながら、どうにかやり遂げる事ができました。

すてきなイベントに関らせていただけた事に感謝しております

実行委員 林 正夫

作品の解体作業の舞台裏をお手伝いした時のこと、若い人が苦労して自分の作品を見てもらうため展示に取り組んだ姿でした。なにかお手伝いをしてエネルギーを買った感じがしました。

ボランティアスタッフ 愛知教育大

瀧波 満里香

私が特に印象に残ったのは、町角で直に制作風景が見えるということでした。作家さんが木版を彫っている姿を通りがかった小さな子供が食い入るように見ていました。違うお店の前では、似顔絵を描いている作家さんも。描かれている人は、最初は固まっていた顔つきだったのに、いつの間にか絵と同じ優しい笑顔になっていました。ただ作品を観るだけでなく、作品や作家さんを通して“亀山”という土地に触れたような気がします。また、ひとつひとつのお店の想いと掛け合わせた作品、作家さん自身の創作意欲には、心に強く訴えかけられました。

実行委員 伊藤 幸一

アート亀山2013にかかわりました皆さまに実行委員の一人としてお礼申し上げます。

今年はひょんなことで、我が家の離れを宿舎に提供することでお手伝いできました。

当初、全国から亀山に來訪する作家の宿舎が無いと困って見えました。ちょうどこの春から94歳の母親が本屋に移って空き家になった離れがあるので家内と相談したところ、皆さんに活用してもらおうのもいいことだと考えが一致し、まだ暑期中、離れに残された膨大な不用物を廃棄しました。

その結果、一部白アリに侵食されたり設備の老朽化もあって思い切ってリフォームすることになりました。

アートが始まる直前にリフォームも完成し皆さまには快適な環境が提供でき安堵いたしました。

また、家内も中高年と老人ばかりの我が家に若い皆さんが集っていただき短い間でしたが若返った気分で喜んでいました。

伊勢の地は、気候温暖で古くから東西文化の混じり合う、面白い地域です。

またの機会には、亀山温泉（白鳥の湯）ともども我が家への來訪をお待ち致しております。

富松 みね子（東町商店街）

台風の影響で、今年のスタートは、私には出遅れ感がありました。

搬入、準備の日はカレー作りやオープニングパーティーの食べ物の準備があり、それらが準当に段取り良く進められるのか不安でしたが、天候の回復により予定どおりの進行となりました。

（私のエネルギーはこの日の食事作業でほとんど使われます。）

それぞれの役目を果たそうとする皆の姿はすばらしく、スタッフとして参加できたことを嬉しく思いました。ただ、商店街とその空間を利用しての作品展示は、より魅力のある、より活気のあるものにしたいという目標と現実の厳しさの間で作品の持つ力が観る人に伝わりにくかったりするのはといつも心配しています。

実行委員 藤田 弘美

趣味のオートバイでの美術館巡りで、亀山の地を訪れたのは春のことでした。たまたま手にしたリーフレットがきっかけで、実行委員に参加させていただきました。会場で人々が、いつもより華やかな町角やショウウィンドウで足を止めて、おしゃべりを弾ませる姿には、何気ない日々の生活の中で、アートを思い思いに楽しむ時間がもてることの「豊かさ」と「アートの重要性」を、改めて感じさせてくれました。

豊田 美保（東町商店街）

今年は全体に作品が少なかったためでしょうか、全体に盛り上がりにかけていた様にも思えます。商店街も何かほかのものとのコラボするか、よほど各店舗が努力しない限りは、せっかくの行事をしても、何のためにしているかわからないと思います。商店街側も幅広い人々が町に親しみ、楽しんでもらえるようもっと考えなくてはいけないと思いました。

今西 菜穂子（亀山市在住）

毎年、子どもたちと「アート亀山」を見るのが楽しみです。

今年も面白かったです。

子どもたちも大喜び！

傘のブランコで、あっという間に空に浮かんだ二人。

公園に現れた池に 葉っぱの船で漕ぎ出し、

謎のテレビ部屋をこわごわ覗き…。

アート亀山をぐるっと一周し、親子で心行くまで楽しみました。



Photo by Naoko Imanishi

「事務局だより」

2013.10.20～2013.11.03 に発信されたメールです

From 伊藤峰子&森敏子

2013.10.20

アート亀山2013 いよいよ近づきました！

アート亀山2013関係者の皆様へ

お世話になっております。

残念なことに、搬入・展示、前夜祭を26日に予定しておりましたが、大型台風が2つもやって来るとのことです。

今夜(22日)、実行委員会を開催して、次の通りに決定いたしました。

皆様のご予定が大きく変更されると思いますが、まず、安全を優先した委員会としての結論です。ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

25日 椅子運び等の準備作業は24日に変更する。

26日 搬入・展示は亀山市に午前8時の時点で、警報(いかなる警報でも)が発令された場合、中止とする。

亀山市からの情報メールを皆さんに送信する。

ただし、自己責任において屋内で、展示作業をする人は市民協働センター「みらい」に待機している実行委員に必ず申し出をして、同意書にサインをしたのち、自分の責任で作業をする。

この場合、いかなる責も実行委員会と亀山市は負わないものとする。



展示作業中

2013.10.22

**アート亀山2013 搬入・展示に関して
前夜祭の各セレモニー、イベントは中止。(27日へ)**

27日 警報が解除された時点より、搬入・展示を行う。
ただし、台風一過のあとも風雨が強い場合があるので屋外での展示には充分、注意する。

9時～ 搬入・展示、その他開幕準備
12時～13時
「みらい」にて昼食 (市民カレー)
関係者は食事にきてください。

16時～16時45分
展示が終わった人は「みらい」に集合
オープニングパーティ 作家紹介、懇談、軽食等

17時～17時45分
法因寺にてキャンドルナイト
GimmC 演奏
Megumi 詩の朗読
studio-01 行灯 (天候により「みらい」)

18時～19時
「みらい」にて懇親会 (自由参加)
GimmC演奏 歓談

23日、24日、25日 (多分、台風) に展示作業を予定してみえる方は必ず大家さんに、連絡してから行ってください。
大家さんの連絡先が分からない方は、お知らせください。
空き店舗の場合は事務局まで。
宿泊はいつでも可能ですので、お知らせください。

アート亀山は今年で6回目を迎えますが、
台風襲来は初めてです。
どうか、皆さま、ご無理のないようお願い致します。
会期初日に展示が終わっていない場合もあるかと思いますので、来場者の皆様には「お詫び」の書面を総合案内所に掲示致します。くれぐれも、ご注意の上、亀山におこしいただけますようお願い申し上げます。



写真はオープニングパーティの様子

2013.10.25

明日から、よろしくお願ひします。

実行委員会の皆様へ。

心配していた台風も皆さんの願ひが通じたのか、それで行ってくれました。
ほんとうに良かったです。
明日はどうぞよろしくお願ひします。

少しの時間でもOKですので、「みらい」にいらしてください。展示の手伝ひをしてほしいと、作家からのメールをいただいています。

(飯野高校生の皆さんもボランティアをしてくださいますが、人数は多い方が助かります。)

実行委員さんは会期中、1日以上は総合案内所(みらい)の受付をお願いいたします。

一日中、座っていただいているわけではありませんが、朝10時～、お昼13時～の60分間は待機していただき、その後、会場のパトロールをお願いします。

前回の実行委員会に出ていただいた委員は当番表に記入してもらいました。

現在、10月30日の午後が、どなたもみえません。どうか、まだご記入されていない方、よろしくお願ひいたします。

一回は、ご協力ください。

(地元作家のみなさんも実行委員会の一員です。)
森までメールか、電話でお願いします。



写真はオープニングパーティの様子

2013.10.31

アート亀山2013 会期の半分が過ぎました。

関係者の皆様へ。

27日にスタートした「アート亀山2013」も、残すところ4日となりました。

人口5万人の街のアートフェア。

決してアーケードにあふれるほどの、来場者という訳ではありませんが、結構、お越しいただいています。

（平常の商店街よりMAPを片手に歩いてみえるお客様は、多く見受けれます）

27日の夕刻のキャンドルナイトには約70名の参加者があり、灯りと詩と音楽を楽しみました。

studio-O1 さん、手作りの行灯のプレゼント、ありがとうございました。

毎日、受付に居ますとさまざまな来場者の、お話しをお伺いできます。

「何十年ぶりの亀山訪問です」と話されるグループは親戚の作家が、出品していて、これを機会に同窓会をされたとか・・・。

また、HPやFBを見て、京都や大阪から訪ねてきてくださる方々も。

学校帰りにランドセル姿で、自分の作った（ワークショップで）折り紙の「亀さん」を見に来る子どもたち。imokoさんの映像のお部屋を覗くと、お年寄りが一人で座ってみえて、「この映画、きれいな色ですね。」と話していただきました。

自分の鼻をつまんで歌いながら見ていたお客さまは人見さんの部屋。

西村さんの「カサブランコ」は、いつも誰かが乗っています。（今日、私は初めて乗ってきました）



明楽さんの喫茶佳の作品の前では「金魚だ」「花じゃないの?」と楽しい会話。

ASITさんのしりとりはカップルが声を出しながら手をつないで、歩いていました。

kouheiさんの路地の作品は、バッグに糸がからんで、キャアキャア言ってる女子高生。

富田さんの鈴のお部屋では、小さい子が触りたがるので、必死に子どもたちを抱っこしている若いご夫婦。

藤墳さんのお部屋のガラスたちは自然光の淡い光を反射して、きれいです。

ろくいちさんの部屋では「これは何?」「お経じゃないの」と中年のご夫婦が、禅問答のような会話をしてみました。

稲垣さんの作品は、場が生かされてシックリきますね。「これは何ですか?」と聞かれたので、「私は亀山の秋の印象のように思えます」と答えました。

倉岡雅さんの「似顔絵」は時に順番待ちです。毎年、人気です。

(また、出会ったエピソードを紹介させていただきます)

アートには人をつなぐ力がありますね。

作品を前に知らない人どうしが話してみえる光景は、ほんとうに素敵です。

街とアートと人の織り成す小さな「ドラマ」

みなさんも、見聞されましたら、ぜひお知らせくださいね。(記録誌の原稿として・・・)

それでは、後半も元気にお客様をお迎えしましょう。ご協力、よろしくお願いします。



2013 .11.1

アート亀山2013残り3日となりました。

皆様、こんばんは。

今日から11月。
いよいよ、残り3日となりました。

今日の17時30分ごろ、「みらい」に居ましたら、大きなリュックを担いだ男性がみえました。

「あっ！ 雑司ヶ谷さん・・・」と私。

実はアート亀山2010から、必ずやってきてくださる方です。今年で4年目。

雑司ヶ谷に住んでいると言ってみえたので、本名も知らず、ずっと「雑司ヶ谷さん」とお呼びしていました。愛知トリエンナーレを見て、近辺の美術館を訪ね、「アート亀山」を見て、今夜中に大阪に行き瀬戸内芸術祭に行かれるとのことでした。

彼は「今年の亀山はこじんまりしているけど、面白いです。」と教えてくださいました。
こんなファンが居てくださって、本当に嬉しいです。

4日は16時に「みらい」に集まってください。
簡単なクロージングをやります。
よろしくお願いします。

また、4日にはみそ焼きうどんの屋台を出します。
どうぞ、「みらい」まで昼食を食べに来ていらして下さい。

また、14時より伊藤龍彦さんによる「アートツアー」があります。

ご都合がつかれる方は、「みらい」に集合してください。お待ちしております。

それでは、残り3日間、どうぞよろしくお願いします。



亀山市民から届けられた傘で作品を制作



2013.11.3

「アート亀山2013」明日で、最終日を迎えます。

2日、3日は結構、大勢の方々がMAPを片手に歩いてみえました。

いよいよ、「アート亀山2013」明日で、最終日を迎えます。

作家のみなさま、実行委員会のみなさま、関係者のみなさま、おつかれさまでした。

そして、ご協力、ご支援ありがとうございました。
明日いちにち、笑顔でお客様をお迎えしましょう！
どうぞ、よろしく願います。

岡本さん、ネイルのおきゃくさまと交流できましたか？

駒井さんの部屋では「この人、オモシロイ！」と子どもが笑っていました。

坂井さんの展示「何これ？」とおばあさんが二人、首をかしげていたのを横目でみて面白かったです。

鈴木さん、なんだかあの部屋、カーテンもシックリきいているのであのままにしておきたいですね。

竹原さん、あれ以降、残念ながら3人でオセロをしている人はいませんでした。(2人でしていた人たちは居ました)

濱口さん、ショーウィンドウに展示された絵、すごい迫力。子どもたちに人気でした。

原田さん、作品を購入したいと言ってみえたお客様がいて、よかったですね！

a.k.a さん、何度も亀山にお越しいただき、ありがとうございました。あの中に入っているとなんか落ち着きました。



Avocado さん、最初はなかなかトライしてくださるお客様が少なかったけど、後半は少しずつ、やってみましたね。

中日新聞に掲載された写真、きれいですね。

gekitetsu さん、たくさんのご友人が見に来ていただいていた。部屋が広がったけど、作品を増やしていただいていた感じになったと思います。

以上、森が見たり聞いたりした感想でした。(前のメールと合わせてお読みください)

明日は午前中、亀山手づくり甲冑隊のみなさまのパフォーマンスがあります。

商店街のどこかで遭遇されるとおもいます。
お楽しみに。

昼食は作家、実行委員のみ無料でみそ焼きうどんと、焼きおにぎりを食べていただけます。
みらいへ、おこしください。

14時から伊藤龍彦さんによる「ガイドツアー」を行います。みらいに集合してください。(展示場所に待機していただいてもOKです)

16時から、ささやかなクロージングを開催します。
このあと、撤去作業に入ってください。

完全に搬出を終えられた方は、必ず、みらい（総合案内所）受付に報告してから、お帰りください。
現状復帰が原則です。

ゴミなどは残さないよう、くれぐれもお願いいたします。

(大家さんへのご挨拶もお願いいたします。)

祭りの終わりは、なんだか一抹の淋しさを覚えますが、明日いちにち、どうぞアート亀山をお楽しみください。



2013.11.6

作家の皆様 実行委員会の皆様 関係者の皆様

「アート亀山2013」、無事に終了致しました。
本当にありがとうございました。
みんなの力で創り上げられた「アート亀山2013」
でした。

商店街のみなさん、アーティストさん、地元の実行委員のみなさん、自ら飛び込んできてくださったボランティアさん、そして、行政のみなさん、来場者の方々。数えきれない人たちの支えがあって、やりとげることができた「アート亀山2013」でした。

「亀山の空は広くてきれいです」とクローリングで挨拶して下さったアーティストさんの言葉に（たったそれだけのフレーズなのに）私はなんだか、涙がでてきました。

そう感じていただけたんだ・・・きっと、亀山を一生、忘れないでいてくれるのでは。。

亀山で出会った風景、亀山で出会った作家たち、亀山で出会った人々、亀山に吹いていた風の音も、心に残ってくれたら嬉しいです。

「アートを街に展示する」

それぞれの人それぞれの場所で、ドラマが生まれたことでしょう。

私たちのたった1回の人生の中で、私たちの「想い」が重なって、出会いがありました。

この出会いを大事にして、次につないでいきたいと願っています。

本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

PS

11月末日までに下記のアドレスまで「アート亀山」に対するご感想や作品への想いなど、100文字程度の文章をお送りください。

作家の皆様は作品のタイトルもお願いいたします。

なお、写真は実行委員会で撮影しましたが、ご自分の写真を使用希望の方はそのデータを添付して送ってください。

作家の方だけではなく、関わっていただいた皆様の原稿をお待ちしています。（匿名 不可）

どうぞよろしく申し上げます。



アートってちからになる！

事務局長兼副代表 森 敏子

搬入日の前日、大型の台風 27 号が襲来しました。搬入日当日も強い風。進路によっては初日開催も危ぶまれてのスタートでした。

そんな台風の中を、公募で選ばれた 24 組のアーティストたちが全国から駆け付けてくださいました。

コラボする地元の参加作家は 12 名。

店舗、空き店舗、路地、公園、シャッター

・・・「場」を生かすアートの可能性を探ることをテーマに、それぞれの場所に作品を展示しました。

現代アートという難解なモノ・・・ところが亀山では意外とスンナリ受け入れられています。

作品を前にして、街の人と大家さん、来場者と作家たち、子どもたちと先生が、そして知らない人同志が話し合っている光景が繰り返されていました。これが「アートのちから」ですね。今年も街とアートと人々の織り成す小さなドラマが、いくつも生まれたことと思います。

現地制作のために何日も前から滞在してくださった作家たち。

搬入日の徹夜組。(大家さんが部屋をかしてくださったとのこと)

何度も亀山に来てくださったり、長期滞在組も・・・。

ほんとうに、ありがとうございます。

「亀山の空は広くてきれいでした」とクロージングで挨拶してくださった東京の作家の言葉に(たったそれだけの言葉だったのに)私は思わず涙ぐみました。そう感じていただけたんだ・・・。

そう、私も昔から気づいていました。亀山って空がアオクテ、ヒロクテ、キレイだってことを。

亀山で出会った風景、亀山で出会った作家たち、亀山で出会った人々、亀山に吹いていた風の音も

心に残ってくれたら嬉しいです。

8 月、面出薫氏の講演会と studio-01 の行灯ワークショップ。

10 月初旬、本瀬あゆみさんと金泰範さんによる亀山西・東小学校・学童保育所遊友クラブでのワークショップ。

搬入日の恒例、「市民カレーライス」「みそ焼きうどん」

そして、こちらも恒例の井上隆邦氏による展示激励、展示相談。

オープニングでは市役所のエンターティナーたちによるパフォーマンス。

初日の夕刻より法因寺で開催された「音と灯りと詩」。

キャンドルナイトには大勢の人が参加して、静かな時間を愉oshimimashita。

倉岡雅さんの似顔絵は今年も大人気。
西村武美さんのカサブランコは順番待ちの列ができていました。
最終日の伊藤龍彦さんによるガイドツアーには、今年も多くの人に参加してくれました。
すべての作家さんたちのエピソードをお知らせできないのが残念です。

みんなの力で創り上げられた「アート亀山2013」。
商店街の皆さん、アーティストの皆さん、実行委員会メンバー、自ら飛び込んで来てくださったボランティアさん、そして行政の皆さん、来場者の方々・・・。
数えきれない人たちの支えがあってやり遂げることができました。

「アートを街に展示する」
たったこれだけのことを通して（私たちの一度だけの人生の中で）自分と対峙し
思いが交わり新しく生まれ変わる。
これからの自分の表現や生き方や、街や家族や社会を考える。

アートって素晴らしい。
アートってちからになる！

事務局を気づかりながら、一人ひとりの作家の方との連絡の中で私が感じ、
私の中から自然に出てきた「言葉」です。

ご協力、ご支援、ありがとうございました。

これからも「アート亀山」にご協力いただければ幸いです

事務局として至らなかった点など、
多々あったと思います。どうぞお許しください。



主催

アート亀山2013実行委員会 アートによる街づくりを考える会

お世話になった皆様 (順不同)

ASIT
imoko
Avocado
田村 公男
本瀬 あゆみ
金 泰範
斉田 武亨
倉岡 としえ
CAKE-HARA
井谷 つらん
人見 紗操
川西 みどり
緒方 直青
濱口 新平
原田 愛子
岡本 優希
西村 武美
ろくいち
藤壇 祐子
稲垣 美侑
堂本 清文
明楽 和記
森 敏子
倉岡 雅
a.k.a
富田 歩
鈴木 香理
gekitetsu
坂井 浩美
長縄 功太郎
studio_O1
Kouhei
駒井 淳也
竹原 真二
伊藤 龍彦
藤田 昌久
GimmiC
Megumi Orpheus Sugitani
面出 薫

亀山西小学校
亀山東小学校
学童保育所遊友クラブ

事業協力

亀山市文化スポーツ室
観光室振興室
商工業振興室
亀山市東町商店街振興組合
亀山商工会議所
亀山市観光協会

実行委員・ボランティアの皆さま

渡辺 佐智男
小菅 まみ
平松 典子
伊藤 峰子
伊藤 幸一
岩間 政人
吉田 健一郎
瀧波 満里香
田中 敏弘
林 正夫
清水 美保子
豊田 美保
富松 みね子
藤田 弘美
中村 健一
福沢 みゆき
南部 幸生
岩間 匠
高尾 佳代子
葛西 勇希
KSGの皆さま
おでかけ亀山スタッフ
亀山市職員の皆さま
手づくり甲冑隊の皆さま
亀山みそ焼さうどん本舗の皆さま
白鳳高校の皆さま
飯野高校の皆さま

写真協力

滝本麻須美
参加作家
アート亀山2013実行委員会

東町商店街のみなさま

大角家
亀山市市民協働センター「みらい」
サカエヤ美装
ベルハンター亀山店
シャッター
(元) 履物店つじや
トラサルディー&オースチンリード
プランタンさかきや
写真のトヨダ
サラダ館
法因寺
森本薬品
なかや本店
なかの材木
阿部家
写真のトヨダ倉庫
(元) 中村こんにやく店
(元) 男子専科123
喫茶佳
吉田家シャッター
ギャラリー KUSUKUSU
しほりや
アートガーデン崖の上
(元) 星栄電化センター
ねこの館

他にもたくさんの方々にお世話になりました。ありがとうございました。



アート亀山2013記録誌
2014年3月31日発行

発行：アート亀山2013実行委員会
〒519-0137
亀山市阿野田町 1060
tel 0595-82-4125
<http://art-kameyama.com/>

編集
伊藤峰子
藤田弘美
森敏子

ART 2013
KAMEYAMA